

瀬戸内産花崗岩 赤穂石(兵庫県赤穂市)

赤穂石は瀬戸内産花崗岩の中でも青味のある淡いグレー系の石材です。石材の「切れ」が良く間知石に加工されて吉備から播磨、遠くは丹波地方まで公共用材、宅造用材など広い範囲で使用されています。

石材の出土状況は玉石系と岩塊から切り出される才物とがあり、原石の多くは5t以下で採取されています。また、近年では赤穂城の石垣や県営赤穂海浜公園の景石にも用いられています。

割肌仕上げ面は長年経過しても変色が少ないのが特徴です。現在は、間知石と景石・比較的小さい玉石を半割にして野面石として利用しております。



採石場

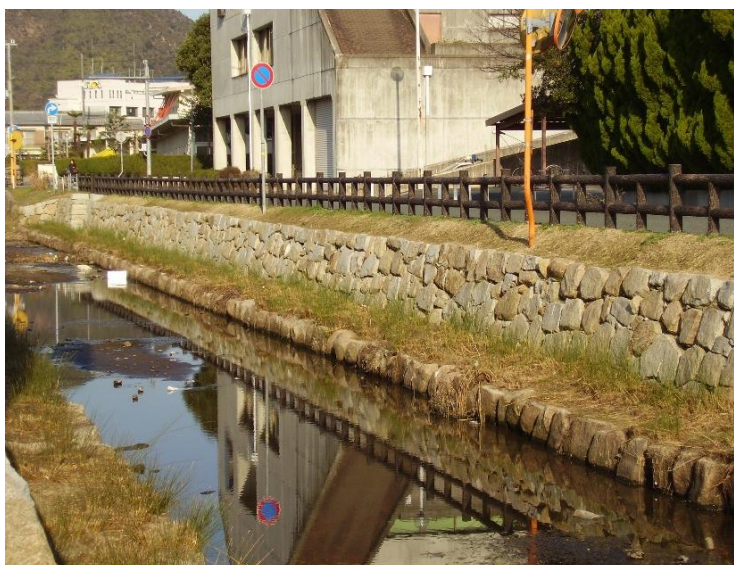
主な使用事例

・野面積

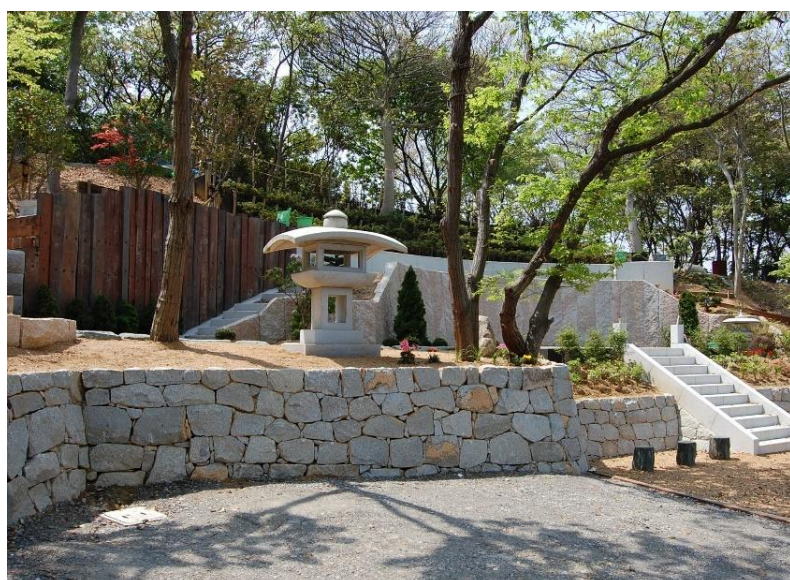
石材の控え長さを 300 内外で割り、加工を行って自然石の形状をそのままに乱積で石積を行います。

裏込めには間知石積と同様にコンクリートを持ち込む場合と、控え長さを 600 内外で空積する場合に使い分けられています。

また河川の護岸や公園の池泉などに利用されています。



河川の護岸での野面積



野面積施工例

原石の加工状況

「セリ矢」等で原石から所定の寸法に割り返して製作します。景石は皮膚のまま使用し、茶色系の石材でも自然の風雨で黒くなります。播磨地方の住宅で崩れ石積に多く用いられております。



玉石 φ100 内から



小割状況



小割された原石



景石

半割石積みは、自然石を半割にして用いることから、まわりに皮膚が着いております。年月と共に黒くなり、自然な野面石の風情を醸し出します。

参考(自然石のためバラツキがあり)

見掛比重:2.69g/cm³

含水率:0.4%

圧縮強さ:1690kgf/cm²



割肌面